

大濱信泉プロジェクト『勇気づけの教育』の推進 (42)



～ これからの学校教育に求められること ～

石垣市教育委員会 学校教育課長 前三盛 敦

「G I G Aスクール構想」ってご存じですか？ 私は「ギガ」の響きからデータ量を表すギガバイトのことをイメージしていました。しかし、「G I G A」は「Global and Innovation Gateway for All」の略で、意味は「すべての児童生徒のための世界につながる革新的な扉」になります。

「G I G Aスクール構想」で、日本中の学校で高速大容量のネットワーク環境と児童生徒一人一人が活用するタブレット端末が配備されました。おかげさまで本市においても約6億円の予算をかけ、タブレット5515台と高速ネットワークの構築、普通教室等に整備した電子黒板(計300台)の入れ替えを行うことができました。

では、この「G I G Aスクール構想」の整備には、いったいどのような目的があるのでしょうか。また、これからの教育には何が求められているのでしょうか？

日本の学校教育制度は、今から約150年前、近代国民国家建設のため封建社会を打ち破り、身分に関係なく「みんな同じように等しく力をつける」という目的で整えられました。内容としては、教科書と黒板、チョークなどを使った一斉講義型の授業と「見える学力」を測るペーパーテスト、同一年齢によるクラス編制などの導入になります。この制度は、明治期から戦後の高度経済成長にいたるまで、日本の発展に大きく寄与してきたといえます。

しかし、時代は今、タブレットが文房具として活用される「Society5.0」時代とへと加速的に進んでいます。そして、国際社会では、ウェル・ビーイング(個人と社会の幸福)を最上位目的とし、持続可能な社会の創り手として、国籍、性別、人種、年齢など、様々な人々が立場を超えて協働していく力が求められています。

このような時代を生きていく上で、学習指導要領前文では「自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」と教育理念として示しています。つまり、これからの学校教育は、「主体的に学び育つ教育」、「あらゆる他者を尊重し多様性を認める教育」、「様々な人と立場を超えて対話や協働していく教育」が求められているのです。

こうした中、同学年のどの子も同じ時間に同じ内容を学ぶ一斉授業では、つまずきのある子や発達の特徴がある子、コミュニケーションが苦手な子、なかには優れた才能のある子など、児童・生徒一人一人の個々の違いに対応できないことが課題となっています。

令和3年1月に第10期中央教育審議会より「令和の日本型教育」の構築を目指して～すべての子どもたちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現～が答申されました。「個別最適な学び」とは、先生が子ども一人一人の個別の特性や学習の状況、興味関心などに応じて学習を柔軟に提供し、それを子ども自身で最適となるよう調整する学びのことです。「個別最適な学び」が孤立した学びにならないよう、これまでも日本型学校教育において重視されてきた、子ども一人一人のよい点や可能性を生かし、子ども同士あるいは地域の方々をはじめ、多様な他者と協働する「協働的な学び」も重要で



す。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実したものにするために、GIGA スクール構想の一人一台のタブレット端末、ICT 環境の整備が大きな役割を果たすこととなります。子どもたちは、AI 教材等を活用し、自分の学習状況に応じて学習を進めたり、戻ったりしながら学びます。また、自分の興味・関心に応じて、オンラインで様々な専門家から直接学んだりインターネットを活用して探求学習を進めたりします。

さらに、GIGA スクール構想では、災害や感染症の発生などによる学校の臨時休業などの緊急時においても、不安なく学習が継続できることを目指すとともに、学校の ICT 環境を構築することで、学校における働き方改革にもつながっていきます。

このように GIGA スクール構想における「令和の日本型教育」が推進されていきますが、タブレット端末等の活用は手段であり目的ではありません。子どもたちの未来を切り拓く資質・能力を一層確実に育成していくことが重要になります。その際、ネットリテラシーなどの情報活用能力を保護者も学びながら、子どもたちが ICT を適切・安全に使いこなすことができるよう育成していくことが求められます。

新しい「令和の日本型教育」が始まろうとしている今、変わりゆく時代の変化に合わせて、学校での子どもたちの学びも変わっていきます。日本の教育は大転換期を迎えています。

石垣市教育委員会では、これからの新しい教育について、保護者、地域の皆様へ情報を提供していきますので、子どもたちを育てる方向を一緒に確認し、連携して下さいますようお願いいたします。